

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	わたぼうし	公表日		2024年 12月	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		定員に対して、活動の場所や広さは充分です。活動内容に応じて、場所を変えて実施しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	4	1	基本的に利用定員に対する基準人数を配置しています。	基準人数は満たしていますが、送迎時に事業所に残る職員数が少ない場合もあります。取り回しの工夫や部分的にヘルプに来ていただき対応しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	バーションの活用や休憩室・調理室の設置等、目的がわかりやすい場所を作っています。	現在の利用状況から、充分なバリアフリー化はなされていない。また、活動スペースが広い。情報伝達面でも配慮がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	4	1	子ども達の活動に合わせた空間の設定を計画しています。	さらに過ごしやすくなるよう、日々の環境整備（整理整頓、清掃含む）に努めています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		活動場所と離れた位置に休憩室を設定しており、児童が離れた時やクールダウンしたい時に行けるようになっています。	
	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	5		打ち合わせと振り返りをその日の職員全員で毎回実施。その日の活動や目標を共有しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価内容を職員間で共有し、課題と強みの分析を行いました。いただいた評価を真摯に受け止め、今後の業務改善に努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		振り返りの場や定期的に会議の場を設けています。単発の評価がある場合は、職員の意見を聞き取り、改善出来るようにしています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		現在、まだ第三者の外部評価は未実施です。
	10 職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		外部研修の参加の他、今年度は事業所内勉強会も実施しています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページに支援プログラムを公表しています。	
	12 療育のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか。	5		保護者の方との面談やモニタリングを通じ、ニーズを把握し放課後等サービス計画の作成をしています。	発達検査や研修の機会を設け、職員のスキルアップやアセスメントの向上に努めています。
	13 放課後等サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの発達上の課題を考慮した検討が行われているか。	5		子ども達に関わる職員にも計画作成時に携わってもらい、共通理解が出来るように努めています。	
	14 放課後等サービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		打ち合わせ時に、計画を確認しながらその日の目標を決めています。	
	15 こどもの発達行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマットやアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマットやアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		情報管理、基本スキルアセスメントや社会能力検査のアセスメント等を実施しています。	
	16 放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容と照準を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		放課後等サービス計画の中に組み込み、目標を設定しています。ねらいに合わせた支援内容も設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		月に1度、活動プログラムを決める会議を実施し、職員全員で決めていきます。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎日や利用児童に合わせて、活動プログラムの設定を行っています。活動によっては繰り返し実施する場合がありますが、基本的には固定化しないよう、設定しています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		発達検査と個別活動（個別指導）の両方を適宜組み合わせ、計画作成に努めています。集団活動が主目でも、子どもの状況に合わせて、個別で取り組むよう時間を設定しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容及び役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎回支援前に職員全員で打ち合わせを行っています。活動内容やその日のスケジュール、役割を明確化し、打ち合わせに参画できない職員も確認できるようにしています。	役割分担が不明確な部分がないようにしていきます。必要に応じて、シミュレーションを行い、職員の動きを共通認識できるようにしていきます。
21 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、良かった点等を共有しているか。	5		支援後には職員全員で振り返りを行っています。活動内容についての評価や子どもの様子、今後の対応を共有しています。		
関係機関や保護者との連携	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1		支援の検証・改善に十分な量を振り返っています。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に1度、計画の見直しを行っています。	
	24 放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			事業所内で完結してしまいう活動も多いです。今後「地域交流の活動」の機会を増やしていきます。
	25 こどもが自己決定できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促すための支援を行っているか。	5		子ども達の発達を取り入れた活動や遊びの実施をしています。定期的に、子ども達が自分たちで計画し実行するプログラムの実施もしています。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	5		支援に関わっている職員が参加出来るようにしています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		年間計画や行事予定を確認しています。ホームページにアップされていない場合は、学校へお電話し把握できるようにしています。	
	29 学校前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		就学前に利用予定の子ども達を見に行かせていただいています。	
	30 学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	5		移行先の事業所と連携し、支援内容の情報を提供を行っています。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
保護者への説明等	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		イベントを通して、交流を行いました。	また機会が少ないため、今後積極的に働きかけて機会を作っていきます。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		現在協議会への参加は出来ていません。今後参加していきます。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え、こどもの発達の状況や課題について共理解を持っているか。	5		お迎えの際に、保護者の方に事業所の様子を伝えしています。必要に応じて、学校やご家庭の様子を伺っています。	活動や支援内容の必要なポイントを、保護者の方に分かりやすく伝えられるよう研修をしています。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や相談提供等を行っているか。	1	3		家族支援プログラムを事業所で実施はしていません。ご家族向けの研修は、事業所入口に掲示しています。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約前に書面でも確認してもらいながら説明をし、同意をいただいています。	
	37 放課後等サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの療育の利益の優先考慮の観点を含め、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		定期的に協議の機会を設定し、意向を確認できる機会を設定しています。	
	38 放課後等サービス計画を、示しながら支援の進捗の説明を行い、保護者から放課後等サービス計画の意向を得ているか。	5		保護者の方に確認をしてもらいながら説明をしています。その際、ご希望や変更を欲しい事があれば随時変更しています。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要の前向きな支援を行っているか。	5			ご家族の悩みやご相談に適切に応じられるよう、今後も知識を深めるよう努めてまいります。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		現在は保護者会を開催できていません。今後開催できるよう、計画を立てています。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情対応の窓口や解決責任者は、ご家族の方へ周知しています。	
42 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		週刊の発行を行っています。各活動のねらいや内容、子どもたちの様子を伝えています。	今後も動画や音声による体調面等、ご家族に確認を取りながら、こどもの体況把握に努めています。	
43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約の際に、個人情報取り扱いについて同意をいただいています。	写真の掲載や外部への情報提供が必要な場合は、同意の元を実施しています。	
44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個々のアセスメントを元に、必要に応じたツールを使用しています。		
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	4	1			
非常時の対応	46 防災計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルの策定、形見、災害への訓練を定期的に実施しています。	訓練の様子やマニュアルについて、保護者の方に分かりやすく周知できるよう、通信への記載を実施します。
	47 地震耐設計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPは策定しています。地震、津波、火災を想定した避難訓練を定期的に実施しています。	
	48 事前に、地震や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	5		地震や発作等は事前にお話しをしています。事前に把握の中で、こどもの体況や体調に合わせた対応が可能なように努めています。	今後も地震や発作による体調面等、ご家族に確認を取りながら、子ども達の状況把握に努めています。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			現在、医師の指示書が必要なアレルギーを持つ児童はいません。重大なアレルギーがある場合は、必ず指示書がないと対応が困難な場合を把握し、注意しています。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で実施されているか。	5		安全計画を作成しています。事業所の入り口に掲示し、ご家族が閲覧できるようにしています。	安全計画は年度途中で見直し、必要に応じて変更しながら実施して見ます。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画は事業所の入り口に掲示し、ご家族が閲覧できるようにしています。	周知はしていますが、充分な周知はできていないため、ご家族が分かりやすいよう周知して見ます。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットを作成した際は、ファインディング職員が常に確認できるようにしています。また、振り返りの際に共有しています。	重大事故に繋がらないよう、今後も継続して見ます。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待についての研修は全ての職員が参加しています。また、虐待防止チェックリストを作成し、定期的に支援の振り返りを行っています。	
	54 こどもの場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもの権利等に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか。	5		放課後等サービス計画に記載し、保護者への説明をしています。必要となる行動が身体拘束にあたるかを職員で確認しています。	